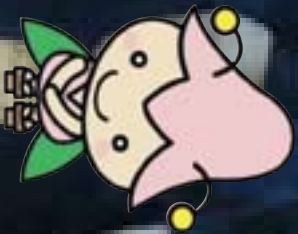


にしあいつ



地域は自分たちで守る



P 2～5 特集 地域を支えられ続け
第37回奥川健康マラソン大会

P 6～7 特集 クラマ繁に出没
インシシ被害も

P 8～9 国民健康保険税の負担軽減

P 10 6月町議会定例会報告
県南・会津・南会津地域

P 11 給付金申請受付開始



—特集— 地域に支えられ続け 第37回 奥川健康 マラソン大会

当日は朝から雨模様でしたが、大会関係者の願いが通じたかのように、開会式前に雨が上がり、マラソンには絶好のコンディションとなりました。

大会役員の皆さんは全国から集まった選手がしつかり完走できるようにと、当日朝まで準備・確認作業を行い、多くの来賓が出席のもと開会式が行われました。その後、60歳以上男子の部から順次スタートしました。

大会には、東日本大震災の被災地からも選手が参加し、被災者に勇気を与えるような力強い走りを見せました。

沿道では地元の皆さん、大会関係者が大きな声で選手を応援し、奥川路は熱気に包まれました。

町、そして奥川地区にとって一大イベントである奥川健康マラソン大会が、6月17日、旧奥川小学校をメイン会場に開催され、全18部門に766人のランナーが出演し、奥川路で力走を繰り広げました。

選手は、沿道の地域の皆さん、大会関係者からの温かい声援、また、雨上がりの涼しい風に後押しされゴールを目指しました。



2 ページ：(右) 高校・一般[40歳未満]男子の部、(左上) 親子の部、(左下) 小学3・4年男子の部

3 ページ：①小学5・6年男子の部、②デッドヒートを繰り広げるランナー、③小学5・6年女子の部、④給水所の模様、⑤・⑦自然の中を駆けるランナー、⑥地域の皆さんによる給水、⑧仮装参加ランナー、⑨選手宣誓する津川遥音君・修二さん親子、⑩高校・一般[40歳未満]男子の部で優勝しカップを受け取る大内龍太郎さん[飯館AC]



小学3・4年女子2km 5位
佐藤 奈々
(芝 草)



小学3・4年女子2km 4位
黒澤 怜花
(芝 草)



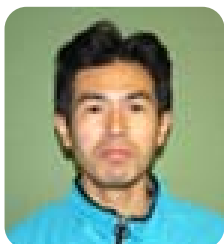
親子2km 8位
渡部 颯・栄二
(さゆりが丘)



親子2km 7位
佐藤 富弥・富之
(上小島)

町	内
	選 手
入	賞 者

10位まで
敬称略



高校・一般40歳未満男子10km 10位
雅樂川 隼人
(宝 川)



40代男子5km 9位
高津 友一
(端 村)



40・50代女子5km 8位
井上 貴子
(西 原)



中学男子5km 9位
佐藤 茂哉
(芝 草)



中学女子3km 10位
大田 聖羅
(縄 沢)

—特集— 地域に支えられ続け 第37回 奥川健康

マラソン大会

大会役員

インタビュー



● 川上 真澄 (かわかみ・ますみ) さん
[下松]

第37回目を迎え盛大に開催された奥川健康マラソン大会。本大会は、昭和51年にランニングを愛する奥川へとへとクラブの皆さんの手により産声をあげ、以来、地元奥川地区をはじめとした町民の皆さんと町が手を携え協力し合いながら開催され、長い歴史を積み重ねてきました。

昨年は、東日本大震災の影響で開催が危ぶまれましたが、過去最多の1,136名もの選手が参加しました。

今年も昨年に引き続き、「がんばろう日本！復興支援チャリティー大会」として開催され、緑

川上さん—奥川に嫁ぎ、地域での交通安全の活動をきっかけに大会運営に参加するようになりました。大会には夫もかわわっていますし、子どもも小学生から選手として参加していましたので、家族みんながかかわっています。

奥川地区の皆さんは、イベントに積極的で、みんなで協力し合い行動することがすごいと感じています。

このマラソン大会は、地域をあげてのイベントなので、早朝からの準備など大変な一面もありますが、選手皆さんに気持ちよく完走してもらい、そして

と溪谷と山菜の里「奥川」の自然のぬくもりや素朴な人情を求めて多くのランナーが集結しました。

今回は北が北海道、南は大阪府の全国から766名の選手が参加し、緑の深い奥川路で日ごろトレーニングしている健脚を競いました。

本号では、昭和51年から開催されてきた奥川健康マラソン大会、さらに奥川地域を盛り上げようと、準備から当日まで、大会を影で支え、全国各地から参加する選手のサポートにあたった大会役員の3名に話をうかがいました。

また来年も参加したいと思ってもらえるように、当日はゴール地点で選手の皆さんのサポートにあたりました。

大会には毎年、高校時代の同級生が参加してくれます。年に一度ですが、多くの友人と会える機会になり、うれしく思っています。この大会を通して、人・交流の輪が広がっているように感じています。

奥川は環境も地域の人もすばらしいところですので、選手としてではなくても、来年も多くの皆さんに、ぜひ応援やリフレッシュに会場に足を運んでいただければと思っています。





● 熊倉 友和 (くまぐら・ともかず) さん
[新町]

熊倉さん―奥川健康マラソン大会には、結婚し奥川に住むようになってから、高揚塾などの活動がきっかけで、十数年前からかわるようになりました。奥川地区の皆さんは、この大会をはじめ、イベントや行事などでのおまじりが非常にいいと思います。

また、大会役員には、先輩方が多いですが、年齢に関係なく楽しく活動しています。

ですから、地元若い皆さんにも参加してもらい、地域を一緒に盛り上げていただきたいと思っています。

当日は、全国各地から多くのランナーが参加してくださったので、安全に走れるよう運営にあたりました。

長い歴史のある大会で、たくさんの方に参加していただけるので、今後も、奥川の名に恥じないような、選手が楽しく参加できる大会にしていきたいと思っています。

この大会に参加したことがない皆さんも、豊かな自然の中で、景色などを楽しみながら走ることもできますので、ぜひ一度参加していただければと思います。

杉本さん―奥川生まれの奥川育ちで、小学生のころから、この大会に参加してきました。

父親が、ずっと奥川マラソンにかかわってきた姿を見て、また、人口が少なくなる奥川を目の当たりにし、自分もできる限りの手伝いをしたいという思いから、大会役員の一人として運営に参加しています。

大会までの準備がとても大変でしたが、当日は多くのランナーを迎え、受付、審判・競技安全管理の担当として選手をサポートしました。

苦労はありますが、地元の大



● 杉本 雅茂 (すぎもと・まさしげ) さん
[向原]

選手も多く、また、大会を成功させたいという大会役員一人ひとりの思い、団結力が大会継続の原動力になっていると思っています。

できれば参加者が西会津に移り住みたいと思ってもらえるように、今後も大会を一層盛り上げていきたいと思っています。

多くのランナーが集うので、将来、会場の一角でミニイベントを開催するなど、マラソン大会プラスアルファのものができれば、さらに楽しい大会になると考えています。できる限り今後もかわっていききたいと思っています。

—特集— クマ頻繁に出没 イノシシ被害も

近年、町内ではクマが集落周辺のみならず、集落内にも頻繁に出没し、農作物への被害のほか人身事故も発生しています。また、イノシシの被害も確認されました。

町では、注意を呼びかけるとともに被害防止対策を行っています。本号では、その内容と、溝口俊夫県野生動物専門員からのコメントを掲載します。



クマ対策

今年度は4月に県道奥川新郷線でクマが目撃されて以来、6月19日までに32件の目撃等の情報が町に寄せられました。これは昨年や大量出没年といわれた一昨年を上回っています。また、近年は朝夕だけではなく、日中の目撃例も多くなっています。

クマは一般的に人に対して警戒心が強い動物といわれていますが、人が里山に立ち入らなくなったことによる人的圧力の減少、森林環境の変化、狩猟者の減少等により、クマが集落付近に出没するようになりました。

クマを集落に寄せつけないために

集落近くに出没することを覚えたクマは、人間に慣れ警戒心が無くなり、エサが無くても集落周辺を徘徊(はいかい)します。このようなクマとの事故を未然に防ぐため、次のような対策が重要です。

- エサになるものを取り除く—集落に出没する原因となっているものは、夏はスイカやトウモロコシ、秋は柿や栗などの農作物です。収穫期を迎えたら早めに収穫しましょう。
- 放置されたままの柿などはクマを呼び寄せる原因になります。不要な果樹木は伐採し、伐採できない場合は枝を落とす、また、幹にトタンを巻いて登れなくする方法もあります。
- 米ぬかもクマの大好物です。厳重に管理し、肥料として畑にまいたり、堆肥に混ぜないよう

町に寄せられたクマの出没情報 (件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成22	1	8	10	13	25	10	82	28	3	180
平成23	0	8	11	31	28	5	2	0	0	85
平成24	1	20	11							32

※平成24年6月は6月19日現在

よる追い上げが効果的です。出没しやすい時間帯(薄暮時)に花火で威嚇することによって集落に近寄らなくなります。

町では、この花火を配布していますので、お問い合わせください。

町の取り組み

- 集落環境の点検
昨年、クマなど有害鳥獣が集落に出没する原因を自治区の皆さんと一緒に調査し、点検マップを作成する「集落環境点検」を行い、その後、点検マップをもとに皆さんと対策などを話し合いました。今年度も要望があった自治区で実施します。
- 未利用果樹木の伐採
集落環境点検の結果、処分することになった未利用果樹木については、基本的には所有者に伐採をお願いすることになります。しかし、高齢や町外在住などの理由で伐採ができない場合は、所有者の同意を得て、町が伐採を代行します。
- 緩衝帯の設置
込み合った森林の除間伐(じよかんばつ)を行い、緩衝帯を設置し、クマなどの有害鳥獣の出没を抑制するとともに、野生動物との本来あるべき共生(すみ分け)が実現できる環境を整備します。



イノシシ対策

町ではこれまで、休耕田を掘られたなど、イノシシの生息が疑われる情報が寄せられていましたが、平成21年度の狩猟期に小綱木で初めてイノシシが捕獲され、生息が確認されました。

昨年度は、上谷や極入でイネへの被害が発生しており、今猟期には上谷、四岐、小屋、極入などで合わせて17頭が捕獲されています。

イノシシは、クマやサル以上に警戒心が強く、クズやススキの根、タニシやカエルなどを食べるほか、イネ、イモ類などの農作物も大好物です。

また、繁殖能力が高く、一度に平均5頭の子どもを産むため、



写真：(上中央)イノシシの「ひづめ」[県農業総合センター提供]、(左上)足跡、(左下)イノシシが吐き出したモミガラ

定着すると被害の拡大につながります。このため、早めに生息を確認し、被害防止対策を進める必要があります。

被害の特徴

●足跡

イノシシは写真のように偶数のひづめを持っています。足には主蹄(しゅてい)、そのすぐ後ろに副蹄(ふくてい)があり、踏ん張って副蹄を開いたような足跡になるのが特徴です。カモシカの足跡とよく似ているため、カモシカではなく、実はイノシシによる被害であったとされる可能性もあります。

●食痕(しょくこん)等

イノシシは山にエサが少なくなった夏季に水田に侵入し、乳

熟期を迎えたイネを食べるほか、イネを踏み倒して大きな被害が発生します。

イノシシはイネの穂をくわえ、歯でそぐように食べます。かんだ後にモミガラなどの堅い部分を周囲に吐き出すので、ほかの動物による被害と区別できます。

そのほかの痕跡としては、イノシシの泥浴び場である「ヌタ場」や畦畔を掘り起こした跡などが見られます。

被害を防ぐには

●農地に近づけない

野菜くずや、収穫し終わった野菜の残りなどを田畑に捨てないようにし、また、農地周辺の草の刈り払いをこまめに行い、見通しの良い環境をつくり、イ

ノシシの隠れ場所を無くします。

●侵入させない

農地の周囲をトタン、ワイヤーメッシュなどの資材や、電気柵で囲い侵入させないようにします。

●捕獲する

町では、イノシシが出没してまだ間もないことから、当面、町民の皆さんに対して被害状況や対策に関する知識・情報提供を行っています。

また、捕獲については、被害が多発する地域から、講師を招いて捕獲に関する講習会を開催し、捕獲隊の技術向上を図っていきます。

【問い合わせ先】

農林振興課・林政係

☎45-4531

福島県野生動物専門員

みぞくちとしお
溝口俊夫さんから



イノシシやサルなど野生動物による被害が深刻化し始めたのは、平成10年ごろからだと考えられます。

一方、クマが里地に大量出没するようになり200頭以上の有害捕獲されたのが、平成15年と18年、そして22年の3回です。さて、大量年の原因ですが、ドングリなどクマの餌の豊凶だけでは説明できません。では何が原因か。一言でいえば、中山間地域で糖度の高いおいしい農作物が盛んに作られるようになったことと、クマによる食害が繰り返されてきたことです。おそらくクマはこう言うでしょう。「昔より、ご馳走も多いし、それに畑に出やすくなった」と。確かに里山林は手入れが行き届かず、耕作放棄地も増え、収穫されなくなった柿や栗は取り放題。里地に降りることを経験したクマが学習してしまった結果です。

特に、母クマに連れられて里に降りた子クマ(新世代クマ)は警戒心が少なく、昼間でも人里で目撃されています。

もう一つ重大な影響は、母クマの妊娠率を増加させてしまうことです。北海道大学との共同調査で分かったことですが、これまでドングリが凶作の年には、ほとんどの母クマが流産してきました。これはいわば自然の持つ調節機能です。ところが食害を許すと、特に里地に出没する母クマの妊娠率を増加させてしまうのです。

クマは私たち人間の変化を明らかに学習しています。私たち人間はその上をいかなければなりません。なぜなら人間は宇宙船「地球号」の船長の役割を担っているからです。



国保税の

負担軽減

**3,000万円を
減税財源に**

国民健康保険とは

国民健康保険(国保)は、加入している皆さんが病気や、けがをした時、誰もが少ない負担で安心して医療を受けられることを目的とした制度です。

健康な方でも、病気や、けがはいつ起こるか分かりません。国保は、もしもの時に備えて加入者同士が互いに助け合っているという「相互扶助」の精神で成り立っています。

国保税の決め方

国保は、一般会計とは別に特別会計で運営しています。

国保税は、①国保加入者の医療費の状況によって決める「医療分」、②国全体の後期高齢者医療制度の医療費状況によって決める「後期高齢者支援金分」、③国全体の介護サービス費の状況で決める「介護保険分」の3種類で算定します。

国保税の総額は、その年に見込まれる医療費などの支出総額から、国・県から交付される国庫支出金や県支出金と、町の一般会計からの繰入金などを差し引いた額になります。

したがって、皆さんの医療費の動向が国保税の増減に、密接に関係しています。

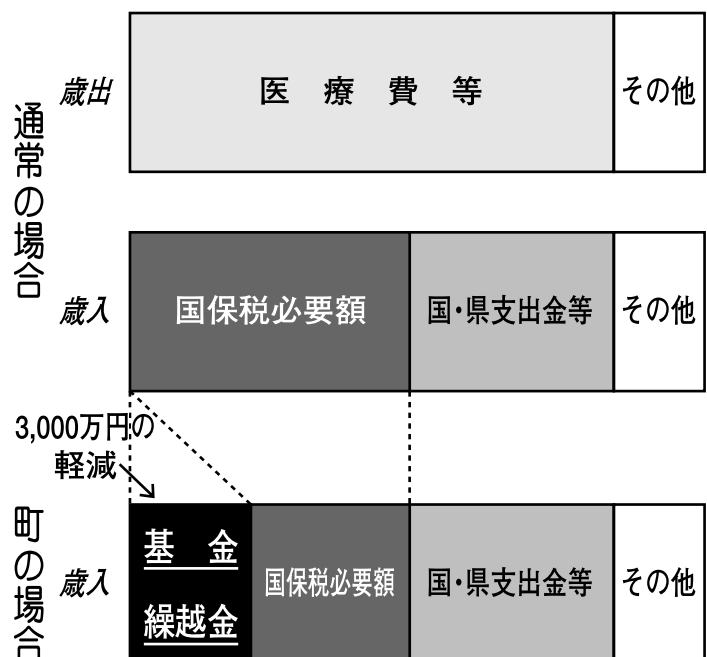
町独自の税負担の軽減対策

町では、国保税の負担軽減を図るため、次の2点を実施し、総額3,000万円を減税財源に充てました。

①第4期国保財政3カ年計画による負担軽減
長期的な国保税の負担軽減を図ることを目的とした国保財政3カ年計画に基づき、保険給付費支準備基金から2,000万円を減税財源に充てました。

②繰越金の充当による負担軽減
平成23年度決算による繰越金から、1,000万円を減税財源にしました。

※上記の①②の2つの負担軽減策により、本来負担すべき額より
1人当たり 12,545円
1世帯当たり22,086円の軽減になります



平成24年度の税率・税額 ()内は前年度

区分	説明	医療分	後期高齢者支援金分	介護保険分
所得割	国保加入者の前年の所得に応じて計算	5.54% (5.94%)	2.01% (1.70%)	1.86% (1.77%)
資産割	国保加入者の固定資産税額に応じて計算	25.18% (29.51%)	8.80% (10.00%)	11.10% (11.20%)
均等割	国保加入者1人当たりの負担額	21,400円 (23,200円)	7,700円 (7,100円)	9,900円 (9,500円)
平等割	1世帯当たりの負担額	18,400円 (19,900円)	6,800円 (6,000円)	5,700円 (5,400円)

税率改正による国保税の試算

[単位:円、表の下段の()は前年度税額]

◆世帯主の給与収入360万円、妻のパート収入115万円・子ども2人の場合

	所得	固定資産税額
世帯主 48歳	2,340,000	30,000
妻 45歳	500,000	0
子 18歳	0	0
子 15歳	0	0

	医療分	後期高齢者支援金分	介護保険分
所得割	120,772 (129,492)	43,818 (37,060)	40,548 (38,586)
資産割	7,554 (8,853)	2,640 (3,000)	3,330 (3,360)
均等割	85,600 (92,800)	30,800 (28,400)	19,800 (19,000)
平等割	18,400 (19,900)	6,800 (6,000)	5,700 (5,400)
計	232,326 (251,045)	84,058 (74,460)	69,378 (66,346)

●医療分・後期高齢者支援金分・介護保険分の合計は385,600円(前年度391,700円)で昨年度より6,100円の減額となります。

◆世帯主、妻ともに年金収入はあるが収入が120万円以下の場合(7割軽減該当)

	所得	固定資産税額
世帯主 70歳	0	40,000
妻 68歳	0	0

	医療分	後期高齢者支援金分	介護保険分
所得割	0 (0)	0 (0)	0 (0)
資産割	10,072 (11,804)	3,520 (4,000)	0 (0)
均等割	12,840 (13,920)	4,620 (4,260)	0 (0)
平等割	5,520 (5,970)	2,040 (1,800)	0 (0)
計	28,432 (31,694)	10,180 (10,060)	0 (0)

●医療分・後期高齢者支援金分・介護保険分の合計は38,500円(前年度41,600円)で昨年度より3,100円の減額となります。

国保を取り巻く状況

国保加入者の医療費の動向は、全体では、やや減少傾向にあるものの、加入者数が減少しているため、1人当たりの医療費は微増となっています。

また、景気がなかなか回復しない中であつて、農業所得は向上し、所得状況は幾分回復していますが、全体としては厳しい所得状況が続いており、軽減対象者数も横ばいの状況です。

このような厳しい状況の中、町として独自の軽減対策を実施することで、国保加入者の負担軽減を図りました。

今年度の税率(上表のとおり)

①医療分

軽減対策により、今年度の国保の必要額は1億480万円となり、昨年度より1,070万円減つたことから、税率については引き下げることができました。

②後期高齢者支援金分

国から示された負担額が増加したことにより、今年度の必要額は、昨年度より410万円増え、4,180万円となつたため、税率については引き上げとなりました。

③介護保険分

40歳から64歳の国保加入者は、

介護保険料分を国保税に含めて納入することになっています。

今年度の必要額は、昨年度より80万円増え、2,330万円となり、税率については引き上げとなりました。

●全体では

後期高齢者支援金分と介護保険分の税率が引き上げとなりましたが、医療分ではそれ以上に税率を引き下げることができました。この結果、全体では税率を引き下げることができました。

このため今年度の国保税は、所得などの世帯状況が変わらない場合は、左表の試算のとおり昨年度より税額が減額となります。

健康がいちばん!

国保税は、医療費の状況により必要になる額が変わるため、その年の状況に応じて税額を計算することになります。

つまり、国保税を下げるには、健康になることが一番です。「健康がいちばん推進事業」にみんなで取り組みましょう。

- バランスのとれた食生活
- 適度な運動
- 毎年検診を受けましょう

【問い合わせ先】

町民税務課 ☎45-22212
健康福祉課 ☎45-22214

6月町議会 定例会報告

町政の主要事項 報告から

町縦貫道路「橋屋橋」 県代行事業の採択

町が最重点路線として整備を進めている町縦貫道路の町道野沢柴崎線「橋屋橋」整備工事が、これまで精力的に行ってきた要望活動により、このたび、県の代行事業として採択されました。町縦貫道路は、奥川地区から町の中心部までを短時間で結び、会津若松市の第3次救急病院まで30分程度で到着することが可能となる町民の皆さんの安全・安心と地域活性化に寄与する路線であり、この事業採択で工事が大幅に進むこととなります。今年度から詳細設計を開始し、来年度以降、工事に着工する計画で、早期完成に向け引き続き県に要望を行ってまいります。

産業廃棄物処理に係る公害 防止協定等の見直し

町では、放射性物質汚染対処特別措置法が施行され、国から法的基準が示されたことから、柳津町、(株)あいづダストセンターの3者で締結していた「産業廃棄物処理に係る公害防止協定書」と「公害防止計画書」の法的基準との整合を図るとともに、町民の皆さんの安全・安心確保のため、県と連携し、協定等の見直し作業を進めてきました。6月7日には協定等の同意団体である青坂・縄沢自治区と西会津地区非出資漁業協同組合に対して、協定等見直し内容の説明会を開催しました。町では今後、全町民を対象とした説明会を開催し、議会と町民の皆さんの理解を得た後に、協定等を再締結し、これに則り対応を行っていく考えです。



6月町議会定例会は、6月8日から13日までの6日間を会期に開かれ、条例の制定・一部改正、平成24年度の補正予算など議案9件、報告5件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

米の全袋検査

県では、米の全袋検査と出荷される園芸作物の自主検査などを行うこととしました。町に、米の検査機器が2台、園芸作物用検査機器が1台配置される予定で、今後、町と関係団体による地域協議会を立ち上げ、円滑な検査体制を確立していきます。

米の放射性物質 吸収抑制対策

県と関係機関は一体となり平成24年産米から放射性物質が検出されないことを目標に取り組みを強化しています。放射性物質の吸収抑制にカリ資材の追肥が有効であることから、町としては、栽培農家に塩化カリの追肥を呼びかけ、その費用の2分の1を補助することとしました。

再生可能エネルギー導入 による防災拠点整備

この事業は、太陽光発電など再生可能エネルギーを活用した災害に強い、自立・分散型エネルギーの導入を県が支援するもので、補助率10分の10の補助事業です。

町では本年2月に、この補助事業を活用した町の防災拠点となる公共施設への太陽光発電設備等の導入について要望していたところ、このたび1億8千万円の交付内定がありました。

その内容は、今年度から4年の計画で、西会津診療所、ケーブルテレビ放送センター、さゆり公園体育館、新築する西会津小学校、現西会津小学校に、太陽光発電設備と蓄電池を整備するもので、今年度は西会津診療所とケーブルテレビ放送センターに整備を行う計画です。

可決された議案

- 住民基本台帳法等の一部改正に伴う関係条例の整備
外国人登録法の廃止などに伴う町関係条例の一括改正
- 町国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険税の税率変更
- 町給水条例の一部改正
水道法の改正により布設工事監督者、水道技術管理者の資格基準を定める改正
- 平成24年度町一般会計補正予算
放射性物質検査機器購入費、放射性物質吸収抑制対策補助金、太陽光発電施設等設置工事費、県南・会津・南会津地域給付金など6億4千294万1千円の増額
- 平成24年度町国民健康保険特別会計補正予算
太陽光発電施設等と受電設備の設置工事費などの新規追加
- 西会津小学校敷地造成工事請負契約の締結
- 県後期高齢者医療広域連合規約の変更
- 人権擁護委員候補者の推せん
本年9月30日で任期満了となる人権擁護委員2名の推せん

県南・会津・南会津地域給付金 申請受付開始

7月9日から



昨年3月11日に発生した東日本大震災による東京電力・福島第一原子力発電所事故に伴い、全県民が被ったブランド・イメージの低下、差別、偏見、風評等による被害の回復に向け、福島県は、多様なブランド・イメージの回復活動を行う県南・会津・南会津の住民に給付金を給付することとしました。

町では、すでに給付対象の皆さんに対し、給付金の申請書類を発送しています。

この給付金の対象者、給付額、給付の流れ、申請書の添付書類、申請の受付期間などは次のとおりです。

● 給付対象となる方・給付額 ●

基準日（平成23年3月11日）に町内に生活をする中心（本拠）の住居があった方

【給付額】

- ◎子ども（18歳以下） 1人当たり20万円
- ◎妊婦 1人当たり20万円
- ◎その他の方 1人当たり4万円

【注意事項】

町に住民票が無くても生活をしていれば対象になります。

また、平成23年3月11日以降に死亡あるいは町外に転居した方も対象になります。

なお、平成23年3月12日以降に町内に転入した方や、町に住民票があっても進学などで町外に生活の中心の住居がある方は対象外となります。

【問い合わせ先】町民税務課 ☎45-2215

給付の流れ

①まず、給付対象者は、お手元に届いている給付金申請書（請求書）と関係書類を、町役場に直接または郵送で提出することになります。

②町では提出された申請書を審査し、対象者に給付金の決定通知書を郵送します。

③給付金については、原則として、対象者が指定した口座への振り込みにより支払われます。

申請書の添付書類

●給付金の振込先口座が分かる書類—金融機関・支店・口座番号・口座名義が分かる預金通帳のコピー—

●基準日（平成23年3月11日）から同年12月31日までの間に妊娠していた方—出産日または出産予定日を証明する母子手帳のコピーまたは妊娠証明書

●基準日時点で町内に生活をする中心（本拠）の住居があった

申請の受付期間

受付期間は、平成24年7月9日から12月3日までです。詳しい日程は給付金申請書に同封の日程表をご覧ください。なお、12月4日以降は受け付けを行いませんので、ご注意ください。

給付金の支払日

第1回目の支払いは、8月中旬ごろの予定で、それ以降は半月ごとの支払いを予定しています。

ものの、町に住民票が無かった方—
①本人の住民票の写し
②基準日時点の住所・氏名が確認できる住居の賃貸借契約書コピーまたは公共料金の領収書原本

●代理人による申請の場合—代理人の住民票の写しなど
※同世帯の代理による申請の場合は不要

●相続人による申請の場合—相続人本人の住民票の写しと、相続人と給付対象者の続柄が確認できる戸籍謄本または除籍謄本など



加工で元気な町づくり

6月1日、町農林産物加工研修会・こゆりちゃん食の楽校の開校式が、交流物産館よりっせで開催され、30名の受講者による研修がスタートしました。

町では、平成22年度からこの研修会を開始し、昨年度には旧群岡中学校の調理室を改修し、加工研修所「こゆりちゃんキッチン」を開所しました。

3年目となる研修会の開校式で伊藤町長は「さまざまな工夫で身近なものが商品になる。西会津町といえば「これ」という食の逸品、特産品づくりに向けて学んでいただきたい」とあいさつしました。研修会は来年2月まで8回にわたり開催されます。

過去最高数の名車勢ぞろい

5月27日、第9回西会津ふるさとなつかしCarショーがさゆり公園で開催され、往年の名車など300台が勢ぞろいしました。東日本大震災の発生で昨年は中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

今回最も遠くから来町したのは愛知県からの参加者で、今年のなつかしCar OF THE YEAR 2012にはルマン24時間耐久レースで優勝したフォードGT40が選ばれました。会場では福島ベンチャーズライブオンステージやレースクイーン撮影会などが開催されたほか、多くの出店があり、1万5000人のファンや家族連れでにぎわいました。



西会津ミドル全国大会出場

鹿児島県指宿市で開催される第27回全国選抜ゲートボール大会に本県代表で出場する西会津ミドルチームの生江克志監督と選手が出場報告のため、5月23日、伊藤町長のもとを訪れました。

西会津ミドルチームは、昨年8月に須賀川市で行われた県選抜大会のミドルの部(65歳未満)で優勝し、全国大会出場を決め、以来メンバーで練習を重ねてきました。

伊藤町長は、名誉ある大会での健闘を期待し、三留伝一キャプテンに激励金を手渡しました。

野沢「山の神様」例大祭

「一生に一度は、なじよな願いも聞きなされる」とされる野沢の山の神様、大山祇神社の春の例大祭が6月1日から30日までの1カ月間にわたり開催されました。

特に土曜・日曜の休日には大型バスで県内各地はもとより、新潟、山形といった県外からも参拝客が訪れました。早朝から神社本社に向かう参拝客も多く、また、例大祭期間中には太々神楽の奉納や野だてが行われ、昨年、東日本大震災の発生により参拝客減少の影響を受けた大山路は少しずつにぎわいを取り戻していました。





豊かな大自然を満喫

会津百名山に選定されている「鏡山」の恒例の山開きが5月27日に開催され、町内外の登山愛好家ら約120人が参加しました。

この日は天候に恵まれ、テープカットの後、参加者は、まぶしい新緑のトンネルの中を一步一步登り、山頂を目指しました。

およそ3時間かけて到着した頂上では、参加した皆さんが雄大な飯豊連峰や周囲の山々を望み、また普段、目にすることができない高山植物をじっくり観賞するなど、豊かな大自然を満喫していました。

ベラルーシ少年少女音楽舞踊団が公演

5月18日、ベラルーシ少年少女音楽舞踊団の公演が西会津中学校で開催されました。

この公演は、東日本大震災の被災地の子どもたちに元気になってもらいたいという趣旨で行われ、チェルノブイリ原発事故で被災したベラルーシ共和国と交流があるNPO法人チェルノブイリ医療基金が同舞踊団を日本に招き、西会津中学校のほか県内4カ所の小中学校で交流公演が開催されました。

会場に集まった西会津中の生徒や西会津小6年生、一般の町民の皆さんは初めて目や耳にする音楽舞踊を鑑賞し元気をもらっていました。



新緑の大山路を堪能

5月26日、7回目となる「心と身体の健康ウォークin大山」が開催され、町内外からの約130人が参加し、大久保町営駐車場から大山祇神社本社までの参道を歩きました。

参加した皆さんは樹齢400年余りの杉並木や不動滝など豊かな自然の中でのウォーキングを楽しみ、心身をリフレッシュしました。

ウォークを終え駐車場に戻った参加者には、実行委員会の皆さんが心を込めて用意した豚汁が振る舞われ、参加者は新緑の大山路を堪能していました。

復興と元気な町づくりのため

6月6日、元気の出る西会津をつくる会事務局の井上國男さんが、4月21日・22日に開催した「春一番さくら祭り」で寄せられた義援金寄付のため町役場を訪れました。

この「春一番さくら祭り」は、東日本大震災による風評被害を克服するため、道の駅にしあいづ「よりっせ」を会場に今回初めて開催され、2日間にわたり地元産の農産物や特産品の販売のほか、住宅相談会などが行われました。井上さんは「復興と元気な町づくりに役立てていただければ」と伊藤町長に義援金を手渡しました。



受けよう！年に一度の定期検診

なぜ検診（健診）は必要なの？

生活習慣病は沈黙の病気と呼ばれ、自覚症状が現れた時には、取り返しがつかないほど進行している場合があります。

一方、日本人の約2人に1人が「がん」にかかるといわれています。病気の早期発見・早期治療のため、自覚症状が無くても年に1回、必ず検診を受診し、健康づくりに役立てましょう。



町の検診の受診率は？

町の検診の受診率は左上の表のとおりです。胃、大腸、子宮、乳がんの検診受診率が低く、特に胃、大腸がん検診では要精検となった方が医療機関を受診する割合も低い状況です。再検査が必要な場合は、必ず医療機関を受診してください。

総合検診が始まります

7月から各地区で総合検診が始まります。受診後には検査結果と、特定健診受診者にはメタボリックシンドロームの判定結果が通知されます。

町の検診受診率 単位：％

項目	平成22年度 受診率	平成23年度 受診率
特定健診（国保）	64.2	63.1
胃がん	43.8	36.9
大腸がん	46.3	43.0
結核	66.8	67.9
肺がん（肺野部）	67.9	68.5
肺がん（喀たん）	49.3	49.7
子宮がん	23.5	24.0
乳がん	19.9	20.0



『未病を癒す』

西会津診療所
三留 正成医師

年に一度行われる検診（健診）では、死亡率の高い心疾患、脳卒中の原因となる動脈硬化などの早期発見へとつながります。また、近年増加中である「がん」の検査も行っています。

ここでいう未病とは、病気になる前の段階で病気の芽を見つけ、早期に対処するという意味です。検診結果で要精検となった方は早めに医療機関を受診し、対処することによって病気を発症する前に生活習慣の改善等で健康な状態に戻ることができます。

医療機関を受診中の方も積極的に町の検診を併せて受診されることをお勧めします。



町では、現在の生活習慣を改善し、病気を予防したいという希望者に対して、町保健師や栄養士が面談や電話等で皆さんの健康づくりをサポートします。働き盛り検診を受診できなかつた方も総合検診を受診できますので、この機会に受診ください。また、検診を申し込まれた方は忘れずに受診しましょう！

【問い合わせ先】

健康福祉課・健康支援係

☎ 45-4532

すくいな／むし歯のない子
5月23日、3歳児9名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は5名でした。



まなか
橋谷田真嘉ちゃん
(上野尻)



ひまり
鈴木日葵ちゃん
(松尾)



れのん
新田れのんちゃん
(西原)



りゅうせい
清野龍生くん
(芝草)



そう
根本 爽くん
(6町内)



さゆり短期大学・第1回学習会「草木織り」

さゆり短期大学が開校
 さゆり中学の卒業生を対象とした「さゆり短期大学」が6月14日に開校し、入学式と第1回学習会が行われました。今年度の学習会は、会津の自然と歴史を中心に行う計画で、自然では「草木織り」を取り上げていきます。
 入学式後の学習会では「寺前自然塾」の長谷沼朝子さんと会沢つぎ子さんが、早速、草木織りの作業手順を説明し、受講生は作品の完成を楽しみに真剣に講義を受けていました。

子どもから大人まで 楽しく学ぶ



子ども英語教室「タッチ・ザ・ワールド」

子ども英語教室
 「タッチ・ザ・ワールド」スタート
 歌やゲームを通し、外国の文化を学びながら英語に慣れ親しむことを目的とした「子ども英語教室」の開講式が6月12日に行われ、低学年30名、高学年11名の合計41名で教室がスタートしました。
 教室は、来年3月まで毎月1回の予定で開催され、低学年コースは、英語指導助手のジョナサン・ダートさんが、高学年コースは、国際交流員のブライアント・ジョージさんがそれぞれ担当し、アメリカの文化や歴史について、ゲームや工作などを行いながら学んでいきます。

地区 スポーツ 大会

田植えなどの農作業が一段落し、群岡地区と新郷地区において、スポーツ大会が開催されました。



新郷地区球技大会



群岡地区親善ゲートボール大会

第27回群岡地区

親善ゲートボール大会

6月3日、すばく西会津において第27回群岡地区親善ゲートボール大会が行われました。
 今回は8チームが参加し、日ごろの練習の成果を発揮していました。

【結果】 優勝 上野尻B

第2位 宝川B

第3位 下野尻A・下野尻C

第34回新郷地区球技大会

第34回を数える新郷地区の球技大会が、6月3日、旧新郷小学校を会場に開催されました。

男子はソフトボール、女子はソフトバレーボールの種目に、それぞれ3チームが参加し、総当たりでの試合が行われました。

どの試合も熱気あふれるプレーで、手に汗握る試合となり、参加者は日ごろの運動不足解消と、地域内の親睦、世代間の交流を図っていました。

【結果】▼ソフトボール(男子)

優勝 笹川B

第2位 豊洲A・連合

第3位 笹川A

▼ソフトバレーボール(女子)

優勝 笹川A

第2位 豊洲A

第3位 笹川B

町民バトンタッチ



やなだ こうえい
築田 拡栄さん [松尾]

鈴木 綾さん (6月号から) メッセージ
 いつも仲良くしてくれてありがとう。これからもよろしく。

あなたの趣味は？
 映画鑑賞

特技は？
 サッカー

最近感動したことは？
 出張から戻り会津の良さに
 あらためて感動しました

自分を一言で表現するとしたら？
 自由奔放

熱中していることは？
 豆乳ダイエット

あなたのモットーは？
 なせば成る

これからやってみたいことは？
 仕事である塗装業の資格
 取得

次の方を紹介してください
 T・Tさん (下野尻)

あなたの宝物は？
 「父親です」
 「一代で会社を築いた父を尊敬
 しています。この会社を少しで
 も大きくしたいと思います」



町民ギャラリー ～冬芽俳句会～

お互ひに気づかふ 年齢合歡の花
 梅雨晴れや遠流の国へと佐渡航路
 退院の日に桐の香や余りし命包みけり
 ジョギングの汗の待ちたる冷奴
 あじさいや供華に選びし一本を

岩原 紀子 (五町内)
 喜多 光子 (九町内)
 鈴木 智子 (さゆりが丘)
 鈴木はる子 (十町内)
 渡部 淑子 (四町内)

聞いて！わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の思い描
 いている夢や目標などを話していただいています。

今日は、3年・生徒会書記の市橋卓磨さんです。

◆わたしの夢

「僕が将来、就きたい職業は教師です。僕はもともと
 数学や理科が好きでしたが、2年の時の職業体験で小学
 校へ行き、教師について学んだことがきっかけでそう思
 うようになりました。

授業の準備をする大変さ、人に分かってもらえるよう
 に説明する難しさなどがありますが、やりがいのある仕
 事であると思うので、地道に努力をして夢をかなえたい
 です」

◆努力していること

「日ごろから解いた答えをきちんと説明できるように
 しています。その答えに行き着くまでの過程を説明する
 ことで、自分にとっても理
 解が進みます。いつでもほ
 かの人に教えることができ
 るように、復習は必ずして
 います」

◆最後に未来の自分に一言

「つらいことや、困った
 ことがあっても、焦らなけ
 れば大丈夫です。素直な気
 持ちで、あきらめずにがんば
 ってください」



まちの人口 ～6月1日現在～ (前月比)

人口	7,542人	(-6人)
男	3,637人	(±0人)
女	3,905人	(-6人)
世帯	2,815世帯	(+2世帯)

戸籍の窓口 ～5月受付分～ <敬称略>

お誕生おめでとう

石川 琥 ^こ 鉄 ^{てつ} くん	早人・百合子	安座
長谷川 琥 ^こ 春 ^{はる} くん	和宏・綾	松尾
齋藤 大 ^{たい} 我 ^が くん	正利・紀子	山口

ご結婚おめでとう

江川 正樹	牧
小路 友子	下野尻

お悔やみ申し上げます

伊藤 堅悦 (62)	進也	父	牧
二瓶 トラノ (89)	興一	母	安座
菊地 龍男 (86)	芳則	父	下野尻
五十嵐 ミチ子 (84)	正	妻	徳沢
長谷沼 ケイ (80)	学	母	小清水
五十嵐 伸六 (93)	茂吉	父	滝坂
武藤 トミ (86)	健	母	柴崎
上野 耕作 (92)	誠喜	父	橋屋
矢部 康一 (91)	俊子	夫	中ノ沢
長谷川 アキ子 (76)	清男	姉	梨平
高橋 岩子 (70)	幹雄	妻	小綱木

町固定資産評価審査委員会委員紹介

長谷川 文男さん
(松尾)

任期：平成24年5月25日
～平成25年12月31日



固定資産税は土地や家屋などをもとに課税される身近な税です。委員として、本委員会の役割である土地や家屋の評価に異議が出された場合の円滑な評価・審査にあたっていきたいと思います。

こちら西会津消防署です

4月の人事異動で新たに着任された西会津消防署の皆さんを紹介します。



西会津消防署長
長谷川 秀一さん
昭和29年生まれ
縄沢出身

署員一丸となり、町民の皆さんの安全・安心の確保に努めていきます。

第三当直司令・警防第三係長

渡部 一夫さん
昭和40年生まれ
喜多方市出身



町民の皆さんが安心できるように努めます。



救急救助・警防係
手代木 裕司さん
昭和54年生まれ
喜多方市出身

町の救命率向上と予防救急の充実に精一杯取り組みます。

庶務・警防係

峯岸 一明さん
昭和60年生まれ
喜多方市出身



町民の皆さんの安全・安心な生活に貢献できるようがんばります。



警防・予防係
星 信也さん
昭和58年生まれ
南会津町出身

一生懸命にがんばっていきます。

庶務・予防危険物係

箭内 典明さん
昭和56年生まれ
福島市出身



町民の皆さんの笑顔の一つでも増やせるように取り組みます。

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】企画情報課・広報広聴係

☎45-4536

土砂災害に備え

6月3日、県土砂災害防災訓練・町防災訓練が尾登自治区内で行われ、土砂災害に迅速で的確な対応を行うため、避難や救出などの各種訓練が実施されました。参加した自治区の皆さんや関係者は近年多発する豪雨災害に備え本番さながらに取り組んでいました。

こゆりちゃん
トピックス



- ①現地対策本部(尾登集会所前) ②消防団員による積み土のう訓練 ③西会津消防署救助隊等による倒木からの救出 ④集会所に避難する尾登自治区の皆さん ⑤救出訓練開始前の模様 ⑥防災ヘリでの孤立住民救出 ⑦女性消防隊による炊き出し ⑧西会津診療所医師等による応急救護訓練

今月の表紙



尾登自治区で行われた県土砂災害防災訓練・町防災訓練には町や県をはじめ、西会津消防署、喜多方警察署、喜多方市消防団などが参加し、大雨により土砂災害警戒情報が発表された想定のもと、町消防団員の皆さんは自分たちの手で地域を守るため、これから梅雨を迎えるにあたり真剣に訓練にあたっていました。